

# 完了後の評価個表

整理番号 森12-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	熊本県
地区名	球磨村	事業実施主体	球磨村、球磨村森林組合等
関係市町村	球磨村	管理主体	球磨村、球磨村森林組合等
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 球磨村は、熊本県の南部に位置し、東に球磨郡山江村及び人吉市、北に八代市、西に葦北郡芦北町、南に水俣市及び鹿児島県伊佐市に隣接しており、南北方向に25km、東西方向に13.5kmあり、総面積20,773haの面積を有している。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は18,329ha（森林率88%）を占めている。このうち民有林が16,492ha（90%）、人工林が11,425ha（人工林率69%）となっている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区の人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とする7齢級以下が41%を占めているが、近年の作業者の高齢化や木材価格の低迷により、手入れが不十分な森林が見受けられる様になってきた。 このため、球磨村森林整備計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽386ha、下刈1,537ha、除・間伐1,578ha、受光伐1ha、枝打ち26ha、倒木起こし20ha、鳥獣害防止施設9,860本・39,770m 路網整備 作業路29,323m 総事業費 1,162,924千円 (当初総事業費 1,204,697千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更に伴い事業採択時に比べ総費用が増加し、施業面積（便益発生対象区域）の増加により総便益が増加となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>19,590,415千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>15,626,753千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>5,259,502千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,236,718千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>3.72</td> <td>(事業採択時</td> <td>3.96)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	19,590,415千円	(事業採択時	15,626,753千円)	総費用 (C)	5,259,502千円	(事業採択時	4,236,718千円)	分析結果 (B/C)	3.72	(事業採択時	3.96)
総便益 (B)	19,590,415千円	(事業採択時	15,626,753千円)										
総費用 (C)	5,259,502千円	(事業採択時	4,236,718千円)										
分析結果 (B/C)	3.72	(事業採択時	3.96)										

② 事業効果の発現状況	<p>① 本事業で植栽されたスギ・ヒノキの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な人工林として育成されており、水源涵養林等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p> <p>② 作業道等の開設により、利用区域内の間伐・保育作業等の森林整備や適期を迎えた主伐がなされ、森林施業が活性化した。また、山菜等林産物の収穫等にも大きな役割を果たした。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により整備された森林は、森林所有者が管理しており、作業路の草刈を年1回実施するなど整備後の林況や施設の維持管理はおおむね良好である。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>森林組合による伐採や植栽、除伐・間伐等の実施により、林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、健全な森林が育成されている。 作業道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
----------------	---

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業労働の軽減、森林施業コストの低減が図られてきたことから、将来の木材供給源としての期待がより一層高まってきている。 森林整備が行われる一方、本作業道を通じて山菜採取やハイキング等に森林を利用する地元住民が増加しており、森林に対する理解が深まりつつある。</p>
-------------	--

⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p>
----------	--

整理番号 | 森12-2

評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・必要性： 当事業の施工後は、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されている。 また、森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されている。 以上のことから、事業の必要性が認められる。</li><li>・効率性： 森林整備及び作業道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</li><li>・有効性： 作業道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれている。 作業道が災害時の迂回路としても機能していること。 森林整備により、森林の景観が向上してきていること。 以上のことから、事業の有効性が認められる。</li></ul>
------	---

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:熊本県

地域(地区)名:球磨村<sup>くまむら</sup>

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,584,207	
	流域貯水便益	1,022,360	
	水質浄化便益	2,130,792	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,989,623	
	土砂崩壊防止便益	14,307	
環境保全便益	炭素固定便益	4,889,595	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	4,959,531	
総 便 益 (B)		19,590,415	
総 費 用 (C)		5,259,502	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,590,415}{5,259,502} = 3.72$		

